

令和6年度 学校評価書(共通) 後期

校名 宇和島市立日振島小学校

1 自己評価書

教育目標	郷土に誇りと愛着を持ち、進んで未来を生き抜く力を身に付ける日振の子の育成					
基本方針	本校教育の歴史と伝統を継承し、日振島の恵まれた自然や地域のよさを知ること、誇りや愛着を持ち、自ら進んで未来社会を生き抜くための確かな力を身に付ける児童の育成を目指した学校経営を推進する。					
本年度重点目標	1 確かな学力の定着と向上 2 生徒指導の充実 3 働き方改革の推進 4 地域との連携					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
確かな学力の定着と向上	①	全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	各調査の分析により成果と課題を把握するとともに、「身に付けさせたい力」の明確化を図り、組織的に推進することができた。	・分析資料の作成 ・具体的な対策の実施	A A	A
	②	授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート	A A B	A
			ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。	・教師アンケート ・児童アンケート ・地域アンケート	A A A	A
			一人1台端末(iPad)やEILS(コンテンツバンク)の活用により、個別最適な学びを推進したり学習内容の定着を図ったりした。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート ・地域アンケート	A A A A	A
	③	家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート	A A A	A
	④	読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極に行った。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート	A A A	A
	⑤	ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート	A A A	A
	<p>(成果と課題)</p> <p>○自己調整学習・単元内自由進捗学習の視点も取り入れ、基礎・基本の徹底を図り、学習したことの定着も見られた。自ら学習に取り組もうとする姿勢を以前よりも多く引き出すことができた。</p> <p>●現在の学習環境(全校児童1名)においては、今後クリアすべき課題に十分対応できるが、中学校の学習環境、評価される材料という点では、橋渡しするイメージで詳細をできるだけ詰め、問題への向き合い方など指導していきたい。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・指導内容という捉え方より、今後の学習評価の在り方(中学校ではどのような評価の流れになるのか)など、根本の部分を理解させた上で動機付けを図り、主体的・能動的に結果に関わっていく姿勢を養っていきたい。</p>					
	評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
	生徒指導の充実	①	規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート ・地域アンケート	A A A A
②		児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童アンケート	A A C	B
			不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート ・児童アンケート ・保護者アンケート	A A A	A
			いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート ・児童アンケート ・保護者アンケート	A A A	A
③		関係機関との連携	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども支援教室わかたけ等の積極的な活用を心掛けた。	・教師アンケート ・児童アンケート ・保護者アンケート	A A A	A
④		自己肯定感等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。	・教師アンケート ・児童アンケート ・地域アンケート	A A A	A
			自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート ・児童アンケート	A A	A
<p>(成果と課題)</p> <p>○学校と地域が良質な関係にあり、児童に大きな安心感を生み、のびのびと成長できる土台を築いてくれているおかげで、大きな問題もなく学校生活を送ることができた。</p> <p>●大きな問題ではないが、言葉遣い等に課題があった時期があった。学級担任だけではなく、他の教職員も関わることでより改善が見られた。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・今後は、中学校生活を見据えた指導の充実を図っていく。</p>						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価			
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス 仕事のやりがい重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、教職員の意識改革に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	A D	C			
	②	働きやすい環境づくり 「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A			
		休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	A	A			
③	他の教職員のサポート体制の充実 教職員同士が仕事を手助けしたり、スクールサポートスタッフ、地域人材などを積極的に活用したりして、職場の仕事のサポート体制が充実した。	・教師アンケート	A	A				
<p>(成果と課題)</p> <p>○基本的には学級担任がほとんどの校務分掌を受け持つが、周りが事務処理等のサポートをし、学級担任ができるだけ授業や児童と向き合う時間に専念できるようにすることができた。</p> <p>●運動会等、学校行事を教員一人で行なっていくことは、大変な労力を要することが分かった。振り分け等をできるだけ早い段階で考え、地域の方々をお願いできる仕組みを構築していきたい。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・地域の方々に協力をお願いする内容をより具体的に示すことができるよう明確化を図り、協力体制、循環関係を大切にしたい組織を継続していきたい。</p> <p>・非常変災時に地域の方々のサポートを受けるために、連絡ネットワーク体制の構築を進めていく。</p>								
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価			
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化 全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。	・教師アンケート	A	A			
		学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、熟議によって地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A A				
		②	情報発信 家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート		A A A	A	
③				来校・相談体制 来客・電話対応を丁寧に行い、保護者や地域の方々の声をしっかりと聞くことで、来校しやすく、相談できやすい体制・雰囲気づくりに努めた。		・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート		A A A
	<p>(成果と課題)</p> <p>○京都への宿泊を伴った学習に対する金銭面でのサポートをはじめ、地域の方々の多面的な支援の下で教育活動を展開することができた。運動会、文化祭等の大きな行事も実施でき、全校児童1名でも昨年度までと遜色ない活動を行うことができた。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・青年協との活動の充実を図っていきたい。今年度も含め、来年度は1年生が入学するので、健やかな成長、他者との関わりの充実の視点から、これまで以上の活動の充実を図っていきたい。</p>							

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満